

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2017-79877(P2017-79877A)
 【公開日】平成29年5月18日 (2017.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報2017-018
 【出願番号】特願2015-209125(P2015-209125)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 1/00 3 3 4 C

A 6 1 B 1/00 3 0 0 P

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】
 【提出日】平成30年3月1日 (2018.3.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 8】

起立台アセンブリ 4 9 は図 4、図 5 のように一体的に組み立てられて、図 7 のように先端部本体 3 0 の所定の収容部に収容保持されて先端部 2 0 内に固定される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 7 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 7 5】

細径部 6 4 は、太径部 6 3 の起立レバー 5 2 側に隣接して設けられ、円柱状に形成される。また、細径部 6 4 の外径は太径部 6 3 の外径よりも小さく、シール部材 9 2 (図 9 参照) が外嵌される。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 8 8】

また、起立台回転軸部 6 2 とレバー回転軸部 8 0 との連結位置がシール部材 9 2 よりも起立レバー 5 2 側に配置されるため、起立台回転軸部 6 2 とレバー回転軸部 8 0 との連結部分の隙間や起立台収容溝 4 5 側からのレバー収容空間 5 6 A に血液や水等が入り込むことはなく、また、シール部材 9 2 よりも起立台収容溝 4 5 側において血液や水等が入り込む部材間の連結部分も存在しない。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 1 4
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0114】

1 ...超音波検査システム、2 ...超音波内視鏡、3 ...超音波用プロセッサユニット、4 ...内視鏡用プロセッサユニット、5 ...光源装置、6 ...モニタ、10 ...挿入部、11 ...操作部、14 ...ユニバーサルコード、15 ...軟性部、16 ...湾曲部、20 ...先端部、21 ...アングルノブ、24 ...起立操作レバー、30 ...先端部本体、41 ...処置具導出部、42 ...観察窓、45 ...起立台収容溝、46 R、46 L ...隙間部、46 R F、46 L F ...幅狭隙間部、46 R N、46 L N ...幅広隙間部、47 R、47 L ...起立台収容溝側面、48 R、48 L ...誘い込み部、49 ...起立台アセンブリ、50 ...起立台、50 A ...ガイド面、51 ...アセンブリ本体、52 ...起立レバー、55 A ...処置具挿通孔、56 ...レバー収容部、56 A ...レバー収容空間、57 ...軸受孔、60 ...起立台本体、61 ...支持部、62 ...起立台回転軸部、70 ...近位端部、71 ...遠位端部、72 R、72 L ...起立台側面、72 R F、72 L F ...遠位端部側側面、72 R N、72 L N ...近位端部側側面、80 ...レバー回転軸部、81 ...ワイヤ連結部、91 ...シール溝、92 ...シール部材、100 ...超音波観察部、112 ...コントロールケーブル、113 ...操作ワイヤ、114 ...ガイド管

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

